

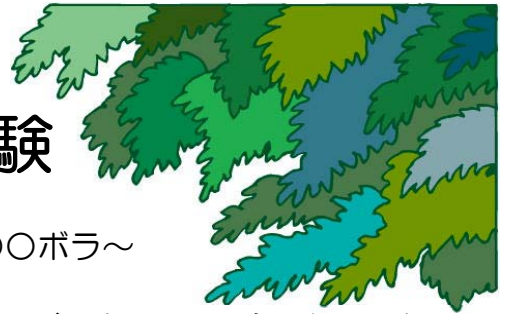
いなか浜での美化清掃



様々な角度から「ボランティア」を体験

2008.10.03～05開催

総合テーマ～見つけよう、私ができる〇〇ボラ～



屋久島独自の活動体験を基に、自分たちの地域でできる〇〇ボラを見つけてもらうことをねらいとした本集いには、島内をはじめ遠くは東京、千葉などから8名の参加がありました。

1日目：環境(ボランティア活動する地域・周囲の状況など)を理解しよう

まずは活動する地域を知るため、屋久島環境文化村センターを見学。永田へ移動し、実際ボランティアを受け入れており、その力を必要としている立場の話としてNPO法人屋久島うみがめ館の大牟田氏のレクチャーを受講。その後浜へ移動し、清掃活動を行いました。

2日目：地域色豊かなボランティア①を体験しよう

屋久島森林環境保全センターにもご協力をいただき、小杉谷に植栽しているヤクシマシャクナゲ周辺の草取り、施肥、本数確認等の作業を行いました。

夜は屋久島町社会福祉協議会の局氏を講師に迎え、ボランティアの語源や役割、種類といった基本から、これまでの状況、及び現状などについての講義が行われました。

3日目：地域色豊かなボランティア②を体験しよう

午前中は、屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊や屋久島森林管理署に協力いただき、ヤクタネゴヨウ見本林・採種林の下草刈りを行う予定でしたが、あいにくどしゃ降りのため作業は中止。船行の植林現場を視察した後は、室内に移動し日頃の調査隊の地道な活動や、ヤクタネゴヨウについてのレクチャーを受講しました。

集い終了後の参加者の感想からは、参加者が思い思いの“〇〇ボラ”を見つけた様子がかがえました。また、期間中「ななかまど(屋久島環境文化ボランティア)」をはじめ、各種ボランティア団体等の「人」との関わりが嬉しいと話す参加者が多かったのも印象的でした。

この記事をご覧の皆さん、次回はぜひ参加してあなたなりの“〇〇ボラ”を見つけてみるきっかけにしてみませんか？

小杉谷での本数確認作業



少しずつ毎日の積み重ねが
やがて大きな実化なるよう、
ボランティア活動を続けたいー

参加者のふりかえりより



ヤクタネゴヨウ見本林でのレクチャー

～財団職員が、それぞれの想う「屋久島」を語るコーナー～
連載【屋久島を想う】④



『間違えないで！』

研修センター勤務：菊池 京子

何度この会話を友達としたりだろう。

●山の上で仕事しているから、電波が届かないよ。

●あー、自然館ね。 ●違う、その隣りの・・・

●あー、遺産センターね。 ●・・・(怒)。

●あー、宿泊が出来る所？ ●そう研修センター！

3年半前家族で移住して、すぐにここで働くようになった。満員電車でゆられ、空気の悪いビルの中で働いていた東京の時とは違い、渋滞なしのマイカー通勤、窓を開ければ鳥達のさえずり、山からの澄んだ風。若いスタッフに囲まれて屋久島の魅力を色々な方々に知ってもらおうと日々勉強中。

間違えないで、遊びに来てね！

屋久島環境文化村中核施設 休館日のお知らせ

【村セ・研セ共通】

11/4(火)、10(月)、17(月)、25(火)

12/1(月)、8(月)、15(月)、22(月)

年末・年始は・・・

【村セ】12/29～1/1 【研セ】12/28～1/3

※ 両センターのイベントについては、表面をご覧ください。

まるりのはひふへホットタイム

(財団職員の「ハッ、ひい、フウ、へえ～」な会話をお届けします。)

☆ 友人の結婚式に出席してほのぼのした気持ちに(^_^)太りすぎて無理だけど、私ももう一度したいなあ(^_^;) (研セ：総務課りん)

☆ 朝晩寒くなってきました。朝が苦手な私は、なかなか布団からでられずに困っています…はあ～。(研セ：研修課シャーク大佐)

☆ 川・風・木々の揺れる音、蛙の声…。最近これらに鈴虫の音が混ざり始めました。里もすっかり秋ですね。(村セ：事業課夜長の風流)

☆ そうなんです。部屋の中で鈴虫が。なんと風流。でも、夜通し鳴くのはやめて！気にしだしたら眠れない。(村セ：総務企画課わっさー)